

火山噴火予知連絡会 第 22 回火山活動評価検討会 議事概要

1 . 検討会の概要

日 時 : 平成 30 年 6 月 12 日 (火) 13:00 ~ 16:00

場 所 : 気象庁 5 階大会議室

委 員 : 中田座長、井口、石原、伊藤、植木、大倉、大島、鍵山、
川邊、楠、小林、齋藤、清水、城ヶ崎 (代理 丹羽)
竹内、棚田、野上、廣瀬、藤原、三浦、森田、山本

2 . 議事概要

検討会において、本白根山噴火を踏まえ、各火山の過去の噴火履歴等を精査し、今後の観測のあり方について検討を行った。概要は以下のとおり。

- ・噴火履歴に係る既存資料により、過去 1 万年以内に噴火したと考えられる地点及び噴火発生頻度等について確認した。
- ・観測データが得られている近年の噴火事例について、水蒸気噴火の発生に至るまでの火山活動の経過を点検し、噴火前に火山活動の変化が観測されたかどうかについて確認した。
- ・近年、常時観測火山において観測された火山性地震あるいは火山性微動の発生源、地殻変動源、噴気・地熱域、消磁源・帯磁源等の火山活動を評価する上で重要と考えられている現象を点検し、それらの発生場所と各火口 / 山体との位置関係等を確認した。
- ・これらの結果を踏まえ、今後の噴火の可能性評価に必要な観測及び調査・研究のあり方、及び長期間噴火活動を休止している火口 / 山体における特段の火山活動の変化がみられないまま発生する噴火に対する観測のあり方について議論した。

3 . 今後の予定

- ・検討結果についていただいたご意見を踏まえた修正を行い、今後、火山噴火予知連絡会 (6 月 20 日) に報告する予定。